臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2000 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に、当院で胃癌に対して治癒切除術（リンパ節郭清を伴う胃全摘術や幽門側胃切除術など）を受けた患者様。

■ 研究課題名

「画像診断境界例における D-FLOT 適応選択補助のための pT2N0 除外スコアの開発と臨床的有用性の検証」

■ 当院の研究責任者(所属)

藤本　剛士　（消化器外科）

■ 当院の試料･情報の管理責任者(所属)

藤本　剛士　（消化器外科）

■ 本研究の目的･方法･研究実施期間

胃がんの手術を受けられた患者さんの中には、手術前後に再発を防ぐための抗がん剤治療をお勧めする場合があります。この治療をお勧めするかどうかは、手術前の CT 検査などの画像診断をもとに判断していますが、画像診断だけでは、がんの正確な進み具合を 100%見極めることが難しい場合があります。そのため、実際には抗がん剤治療が必要ないほど早期であったにもかかわらず、治療を受けていただくケースが生じる可能性があります。本研究は、手術前の検査結果（がんの見た目の特徴や血液検査の値など）をもとに、抗がん剤治療の必要性をより正確に判断するための参考指標を作ることを目的としています。この指標が確立されれば、将来的に、患者さん一人ひとりに本当に必要な治療を選ぶための助けになると考えています。

本研究は、すでに診療で得られている情報（手術記録、病理検査の結果、血液検査の結果など）を、新たに患者さんに検査や治療をお願いすることなく、後からまとめて調べる「後方視的研究」という方法で行います。

研究期間中に胃癌に対して当科で治癒切除を施行された 469 例を対象とします。

Stage ⅠB 相当と Stage Ⅱ 相当以上でグループを分け、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを比較・分析します。

研究実施期間：　2026 年 9 月 17 日～2026 年 12 月 31 日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

年齢、性別、アメリカ麻酔学会術前身体分類（ASA-PS)、Charlson 併存疾患指数(CCI)、Body mass index（BMI)、Modified Glasgow Prognostic Score (mGPS), 胃癌 stage，術式，出血量，手術時間，周術期輸血の有無，リンパ節郭清度, Clavien-Dindo 分類による術後合併症，術前の血液生化学検査所見、病理組織学的検査所見、等

■ 他の研究機関への提供･提供方法

他の研究機関への試料･情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）　亀田総合病院消化器外科　藤本　剛士
〒296-8602 千葉県鴨川市東町 929　電話：04-7092-2211